



魚津というキャンバスに いっしょに夢を描きませんか

大きい夢、小さい夢、
現実的な夢、理想的な夢、空想に近い夢、
どんな夢でもかまいません。
市民といっしょに主体的に行動できる
能動型の職員を求めます。



「よっしゃ来い! ちょうろく」での市職員パフォーマンス

目指すべき職員像

魚津市では、職員一人ひとりの能力、可能性を引き出し、組織としての総合力を高めるため、「魚津市人材育成基本方針」において以下のような行動をとることができる職員の育成を図っています。

◎市民と協働する職員

地域に飛び込んで、市民感覚で行政課題をとらえ、市民と協働して主体的にまちづくりに取り組むことのできる職員



◎経営感覚を持つ職員

コスト意識を常に持ち、限られた経営資源を最大限に活用し、低コストで高レベルの行政サービスを提供することができる成果重視型職員

◎未来を創り出す職員

時代の変化を適時・的確に読み取り、長期的視野に立って将来の魚津の姿を描くことができる職員

◎新たな課題に挑戦する職員

前例にとらわれずに、新しい発想で困難な課題に果敢に挑戦する意欲と行動力のある職員



◎自分を磨く職員

市民ニーズや社会経済情勢の変化に注意を払い、幅広い視野と知識を養うなど、絶えず自己啓発に努める職員



Q 魚津市民しか受験できないのでしょうか？

A 受験資格に住所要件はありません。大切なのは魚津市で働きたいという気持ちです。現在も富山市から朝日町までの近隣自治体から通勤している職員はたくさんいます。また、県外出身でも、縁あって魚津市役所を受験し、採用された職員もたくさんいます。住所や年齢、性別、学歴などによって有利・不利になることはありません。

Q 募集人数や職種はいつ頃わかりますか？

A 上級（大卒程度）、中級（保育士等）の募集要項は4月下旬に市HPで掲載予定です。年度によって募集しない職種もあります。

Q 配属先の希望は聞いてもらえるのでしょうか？

A 現在働いている職員も含めて、毎年配属希望調査を行っています。ただ、市役所にはたくさんの職場があり、本人の希望を加味したうえで、適性や能力に応じて職員配置を行っています。必ずしも本人の希望どおりの部署に配属になるとは限りませんが、どの部署でも魚津市民の役に立てるよう業務に取り組んでいます。

Q 採用試験ではどんなところを見ているのですか？

A 1次試験では、教養試験、適性検査、作文試験を行っています。社会人としての基礎知識や基本的な考え方を確認しています。2次試験は面接が中心になります。面接では、自分の考えを、自分の言葉でしっかり表現できているかを見ています。魚津市では、市民の皆さんと対話しながら、市民と一緒に未来に向けたまちづくりに取り組んでいます。相手の考えを理解し、適切に対応できる人材を求めています。

Q 転勤とかはありますか？

A 魚津市役所本庁のほか第一分庁舎（教育委員会）、第二分庁舎（上下水道局）、出先機関（図書館など）がありますが、いずれも魚津市内です。ただ、研修として県庁へ派遣する場合や災害復旧支援として県外自治体へ派遣する場合があります。また、近年は観光庁や文部科学省へ研修派遣した実績があります。



わからないことがあったら何でも聞いてください！

問合せ先 魚津市企画総務部総務課職員係

電話 0765-23-1020（直通）

E-Mail soumu@city.uozu.lg.jp